

広報 な か わ だ 2023年 3月



第508号

中和田カトリック教会 広報委員会

泉区中田北1丁目9-1 Tel (045)803-6141

2023年3月5日

<https://nakawada-catholic.com>



「四 旬 節 を 迎 え る」

フランシスコ・ザベリオ 日野武満神父

今年の四旬節は2月22日から始まります。(カーニバルは21日まで)

カトリック教会ではイエス・キリストの受難・死・復活を迎える準備の四十日間、灰の水曜日(今年は2月22日)から4月9日(A年)復活の主日までです。

教会は、この期間に年に一度の聖体拝領、罪のゆるしの秘跡を受けるように勧めています。今年は3月5日に戸塚教会・中和田教会の司祭が交代して、ミサ・講話・赦しの秘跡がおこなわれることになりました。

また、新型コロナ・ウイルス感染症に苦しむ世界の人々の為とウクライナ・ロシア戦争の為に苦しみにあっている人々のため祈り、償いを何らかの形で行うようにすすめています。

教会ごよみ(3・4月)

	日	曜	典 礼 (ミ サ)	備 考	そ の 他
3月	3	金	初金ミサ(9:30)	週日ミサ	十字架の道行(9:00)
	4	土			入門講座(14:00)
	5	日	主日ミサ(9:00)	四旬節第2主日	担当:第2地区 黙想会・ゆるしの秘跡(田丸神父様)
	11	土			教会委員会(10:00)
	12	日	主日ミサ(9:00)	四旬節第3主日	担当:第3地区 典礼研修会
	18	土			入門講座(14:00)
	19	日	主日ミサ(9:00)	四旬節第4主日	担当:第1地区 典礼研修会
	20	月	祭日ミサ(9:30)	聖ヨゼフ[祭]	
	25	土	祭日ミサ(9:30)	神のお告げ[祭]	
	26	日	主日ミサ(9:00)	四旬節第5主日	担当:第2地区 典礼研修会
4月	1	土			入門講座(14:00)
	2	日	主日ミサ(9:00)	受難の主日(枝の主日)	担当:第3地区
	6	木	祭日ミサ(19:00)	聖木曜日(主の晩餐)	担当:全地区
	7	金	祭儀(19:00)	聖金曜日(主の受難)	十字架の道行(18:30) 担当:全地区
	8	土	祭日ミサ(19:00)	聖土曜日(復活徹夜祭)	教会委員会(10:00) 担当:全地区
	9	日	祭日ミサ(10:00)	復活の主日	担当:全地区
	15	土			入門講座(14:00)
	16	日	主日ミサ(9:00)	復活節第2主日	担当:第1地区
	23	日	主日ミサ(9:00)	復活節第3主日	担当:第2地区
	30	日	主日ミサ(9:00)	復活節第4主日	担当:第3地区

※2/24(金)～3/24(金)の各金曜日は、十字架の道行(9:00)が行われます。

「中和田教会委員長に任命されて」

今井暁子

何の前触れもなく去年12月25日のクリスマスのミサ後に急に委員長にと説き伏せられ正直、心に重くのしかかっておりました。ところが、この原稿を書き始める直前に去年2月聖堂祝福式で梅村司教様、神父様方の前でお話するようにと依頼された時のことを思い出しました。あの時は下手でも未熟であっても新しい中和田教会が与えられた感謝や喜びをお伝えしなければとイエス様の十字架を思い起こし励まされお引き受けしたのです。今回もあの時の気持ちでお引き受けすれば良いのだと気づかされ自分を励ましながらかこの原稿を書いている次第です。

先日カナダ滞在中に娘婿のお母さん（福音教会）に誘われ Mission Central Conferences というカナダ全土からクリスチャンが集まる大会の一部に参加しました。私が参加したのは金、土、日と三日間あるうちの一つでメッセージをされた方はプロテスタントの方でした。

全部理解できたわけではありませんが、その中で印象に残ったのは「私たち一人ひとりが神様と親しく交わって一つになろう」でした。神様と親密に交わるとは「神様は私たち一人ひとりに何を望んでおられるかを知ることであり、神様は一人ひとりに違った役割をお与えになっている。教会はイエスの体であり、私たちはその一部だ。各々が体の一部になってイエスを伝える。教会はイエスを運ぶ乗り物ではないだろうか」と熱く呼びかけられました。



帰国後たまったカトリック新聞を読んでいたところ1月29日付け教皇の一般謁見講話「**宣教はキリスト者の活力**」に目が留まりましたので数か所引用させていただきます。

「信仰を伝えることには、キリスト信者の生活に活気を与えて、清める酸素のような働きがある」「キリスト信者の生活で福音を告げ知らせるという目標を見失うと、ただ自分のことだけを考え、やる気をなくしてしまう」「福音宣教は他者を説得しようとするのではなく、日々、私たちを見守り、引き上げてくださった愛の素晴らしさを証しすることから始まるのです」「この美しさを伝えることで、人々に分かってもらうのです」「私たちは主を告げ知らせるのであり、、説き伏せるのではなく、人々にイエスと接していただくのです。主に人々を説得していただきましょう」

中和田教会共同体が活き活きとイエス様を運ぶ乗り物になるとは、福音を告げ知らせ、神の愛の素晴らしさを証しするため、私たち一人ひとりが神様から頂いた賜物を惜しみなく使い喜びを持って働くことではないでしょうか？神である主イエスが聖霊を送って幾多の困難を必ず乗り越えさせてくださると信じ、共同体の皆様と心をつなげて中和田教会発展のため微力ながら貢献できますようにと祈りつつ、この一年間委員長を務めさせていただきます。どうぞ皆様のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

「レクティオ・ディヴィナに参加して」

先日、知人に誘われて、原宿教会での<レクティオ・ディヴィナ>に参加しました。何も分からずに参加しましたが、係の方の親切なご案内を受けて初体験をしました。参加者は20人ぐらいだったと思います。指導司祭は久我神父様でした。

そもそも<レクティオ・ディヴィナ>とは何かというと次のようなことだそうです。

●レクティオ・ディヴィナとは何か？

レクティオ・ディヴィナとは教会で伝統的に行われている霊的読書のこと。対象は聖書である場合も、聖人のお書き物等である場合もある。単に頭で理解するだけでなく、ゆっくり時間をかけながらテキストを味わっていく。テキストを歴史的な言葉であると同時に、今ここで自分に語りかけられている言葉として読む。さらに、その語りかけに対して応答していく。

●具体的な進め方

個人で祈ることもできるが、数人で集まって分かち合いを交えながら進めていくこともできる。聖書を音読し、司祭等が字句を解説する⇒沈黙。 ゆっくり時間をかけて聖書の言葉を理解する。⇒自分の理解をみんなと分かち合う⇒もう一度聖書を音読する⇒沈黙。 知的な理解に基づいて、今度は今ここで神が何を自分に呼びかけているかを感じる⇒感じたことを分かち合う。

二つのグループに分かれて、私達は実際にやってみました。題材は、2月5日（日）のミサで朗読される、マタイによる福音（5：13～16）でした。交代で一人ずつ読んでから、心でハッとすると、心に響くところを発表しあい、どんなことを思ったかを言いました。しばらく黙想し、言葉の意味などを考えました。

その後で全体が集合し、久我神父様から「地の塩」や「世の光」の言葉の意味や語源を解説していただきました。旧約聖書から新約聖書へ繋がっていることをお話していただきました。

私は皆さんと聖書を味わって読むことが出来て、一人だけで読むよりも深い意味に気付かされていくような感じがしました。皆様もどうぞご参加ください。（武田幸子）

典礼委員会からのお知らせ

<第41回横浜教区典礼研修会について>

今年も昨年同様、中和田教会として典礼研修会を実施いたします。動画（30分の講話を2つ）を視聴した後に分かち合いを行います。

研修会テーマ：「ミサをみつめなおそう」

講話1は岡野神父様による「ミサよもやま」

講話2は宮内神父様による「ミサにどのように参加していますか？」

ミサに関する興味深いお話が聞けるとともに、ミサに参加する心構えを再認識することができるでしょう。皆様ぜひご参加ください。複数回の参加も歓迎します。

第1回 3月12日（日）ミサ後 10:15～12:00 場所：ホワイエ

第2回 3月19日（日）ミサ後 10:15～12:00 場所：ホワイエ

第3回 3月26日（日）ミサ後 10:15～12:00 場所：ホワイエ

<続・寄り道>

「寄り道」を再開します。

日 時：毎月 第3（日）ミサ後

内 容：当日の聖句の

分かち合い

場 所：小聖堂



委員会便り

2月11日午前10時より、信徒大会後の新メンバーによる初めての教会委員会が開催されました。初めての委員の顔合わせで、緊張気味のところもありましたが、終始ほのぼのとした雰囲気では進みました。

教会委員会議事録

【1】 日野神父様のあいさつ

【2】 参加者の自己紹介とあいさつ

ちょっと緊張気味の雰囲気？での自己紹介でした。

【3】 今井新委員長のあいさつ

- ・ 自分は周りを引っ張っていくリーダーではないが、皆で一緒に楽しみながら活動していきたい。生き生きとした教会になればいいと思っている。
- ・ 所信など詳しいことは、中和田教会報に載せるので読んでもらいたい。

【4】 信徒大会の振り返りと今後のプラン

- ・ 岩渕さんから提案の全員参加型の組織運営で一部に負担のかからない教会を目指していきましょう。
- ・ 福祉・財務・典礼などいろいろな名簿がある。総務の名簿を活用して連絡網を含め、名簿の整理をしたい。
- ・ 現在、献金袋は家族で1封筒となっている。一人1封筒はどうだろうか。合わせて、財務を徹底する方法も検討したい。

(今後の検討課題)

- ・ 教会はまず主日ミサにきてもらうことを考えるべきだ、そのためにも名簿をきちんと整理するところから始めたい。

【5】 典礼関係

- 今年度の典礼委員会は原則第一日曜日のミサ後(3月度は2/26)
- 2月の行事日程の確認

○黙想会について

- ・ 3/5当日の時程の確認
- ・ 昼食会は会費1,000円、参加希望者を募る。調理はエプロン会に依頼済みだが全体にも声かけをする。

○典礼研修会

3/12(日)、3/19(日)、3/26(日)

当日の進行役は、今井、五十嵐、森脇で担当日を分担。

テーマは「ミサをみつめなおそう」

○ミサ開始時間の一部変更

主日ミサは9時開始

平日ミサと祭日ミサは10時開始

(5月1日より実施)

○名札の着用

コミュニケーションを増進するために今後名札を着用する。具体的な方法は典礼委員会で検討する。

○四旬節から復活の主日の日程

信徒大会の資料で確認。

○報告事項

7項目の報告事項を確認した。

【6】 1月度財務報告

一般会計、建設会計、献金会計の報告

【7】 その他

- テーブルは常に2台程度出しておく。
- 自衛防災隊の組織図を再検討する。
- 音響施設は費用などを調べ、交換する方向で検討する。
- 防犯上の危機管理体制を整えたい。「ご自由にお入り下さい。」の紙は取り外し、一人で事務所在室中は内鍵をして、インターホンで対応する。

(文責 森脇)

教会からのお知らせ

■帰天

マリア 山田 幸子様

(享年 88)

2月28日に帰天されました。

謹んで、哀悼の意を表します。

(総務グループ)

